

略推進本部員の岩田康之教授による引率のもと、香港日本人学校(香港校・大埔校)で

免許要件外の「研究実習」として、単位を

認定される。また、入境後3日間は学校等の人の集まる施設への立ち入りが制限されたことから、初日の講話はオンラインで行った。

こうしたオンライン実習となったが、

実習生たちは約2週間各学級に配当され、授業参観・参加に加えて登下校指導や健康観察朝の会、帰りの会などでの実際の学級

経営など、日本人学校のリアルな状況を体験し、実践的な学びを得ることができた。

実習中の11月2日には台風接近に伴う休校措置が講じられ、日本とは異なる非常

時対応を問わずも経験することにもなった。大埔校では併設されている国際学級(イン

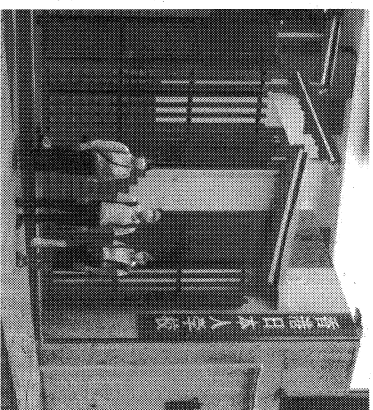
ターナショナルスクール)との交流会への参加の機会も得た。

また、実習生たちはそれぞれ自分で確保

広島大留学生らが高校生と参加

国際教育交流・異文化間能力育成研修に

おもてなし国際教育交流



した宿から一般の路線バスを使っ

て毎日実習校に赴くな

ど、滞在中

に香椿の人々の生活を

つづきながら、観望朝の会、帰りの会などでの実際の学級

経営など、日本人学校のリアルな状況を体験し、実践的な学びを得ることができた。

広島大学では、グローバルインタナショナル・インシニアI:日本社会における異文化間能力「同II:日本の地域社会と協働する異文化

間実習「日本社会とジエンダー」(恒松直美・森戸国際専等教育

学院准教授担当)を受講している広島大短期交換留学プログラム

(HUS)留学生と総合科学部国際共創専科(アメリカ・イ

ギリス・フランス・ドイツ・韓国・中国・香港・タイ・日本

出身)の学生35人が、このほど広島県立日影館高校と共同で異

文化間能力研修と「吉舎おもてなしプラン国際教育交流」を行

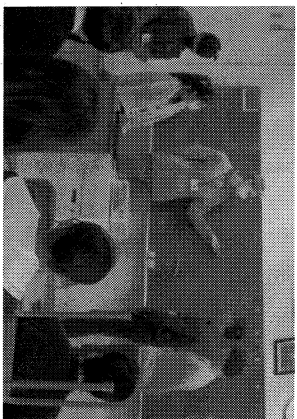
った。「おもてなし国際教育交流」への参加は8回目となる。

日影館高校生徒147人と教職員17人、吉舎中学校生徒9

人、地域ホストファミリー、広島大学生35人の約200人が

参加する大規模な国際教育交流となった。国際教育交流では、ス

ペインとイギリスからの留学生によるスピーチによる自己紹介、異文化



異文化間能力育成実習



おもてなし国際教育交流

「ツアー」と同様の「観察」「参加」講話を主体とした実習プログラムとなった。

した宿から一般の路線

バスを使っ

て毎日実習

校に赴くな

ど、滞在中

に香椿の人々の生活を

つづきながら、観望朝の会、帰りの会などでの実際の学級

経営など、日本人学校のリアルな状況を体験し、実践的な学びを得ることができた。

また、実習生たちはそれぞれ自分で確保

参加の機会も得た。

大埔校では併設されている国際学級(イン

ターナショナルスクール)との交流会への参加の機会も得た。

また、実習生たちはそれぞれ自分で確保

参加の機会も得た。

大埔校では併設されている国際学級(イン

ターナショナルスクール)との交流会への参加の機会も得た。

また、実習生たちはそれぞれ自分で確保

参加の機会も得た。

大埔校では併設されている国際学級(イン

ターナショナルスクール)との交流会への参加の機会も得た。

また、実習生たちはそれぞれ自分で確保

参加の機会も得た。